

第 26 回
第二言語習得研究会(JASLA)
全国大会
予稿集

大会テーマ

様々なアプローチの第二言語習得研究

2015 年 12 月 19 日(土)～20 日(日)
於 東北大学 (川内北キャンパス)
(〒980-8576 宮城県仙台市青葉区川内 4 1)

◆目 次◆

プログラム・予稿集掲載内容一覧	2
東北大学キャンパス周辺地図	6
予稿集	8
『第二言語としての日本語の習得研究』投稿規定・書式・学位論文の情報募集	106
第 27 回第二言語習得研究会 (JASLA) 全国大会研究発表の募集	112
第二言語習得研究会 (JASLA) 2015 年役員・委員	113

プログラム

■ 12月19日(土) (A200 教室他) ■

12:30～ 受付 (A200 教室前)

13:00 開会式 (A200 教室)

司会 菅谷 奈津恵 (東北大学)

開会宣言 鎌田 修 (第二言語習得研究会会長)

開催校挨拶 花輪 公雄 (東北大学高度教養教育・学生支援機構機構長)

第4回佐々木嘉則賞授与式

受賞論文：モノリンガルおよびバイリンガル日本語学習者の文処理
—競合モデルに基づく類型論的観点からの分析—

執筆者：白 春花 (東京大学大学院生)

向山 陽子 (お茶の水女子大学)

13:20～16:50 ≪パネルディスカッション≫ (A200 教室)

様々なアプローチの第二言語習得研究
—最新の研究動向と教育的示唆—

司会・ファシリテーター：向山 陽子 (お茶の水女子大学) : p. 8

「認知的アプローチ」

小柳 かおる (上智大学) : p. 10

「機能主義的アプローチ」

中浜 優子 (慶應義塾大学) : p. 16

「社会文化的アプローチ」

鈴木 渉 (宮城教育大学) : p. 22

16:50～17:00 総会・事務局からの連絡

17:15～19:15 ≪懇親会≫ (川内厚生会館キッチンテラス Couleur)

■ 12月20日（日）（A200・A202・A205 教室他） ■

9:10～ 受付（A200 教室前）

10:10～11:10 ≪口頭発表 1≫（A202 教室） 司会：杉本 巧（広島国際大学）

10:10～10:40 会話能力向上のためのスカイプ利用の有効性
加藤 富美江・森 千加香（ノースカロライナ大学シャーロット校）
スプリング, ライアン（東北大学）：p. 28

10:40～11:10 基礎日本語ライティング授業に見られた漢字の誤用
ータイ人日本語学習者の場合ー
ニャンジャローンスック, スニーラット（タマサート大学）：p. 34

9:40～11:10 ≪口頭発表 2≫（A205 教室） 司会：西川 寛之（明海大学）

9:40～10:10 日本語学習者による自動詞と他動詞の形態素の習得
小山 さや香（中央大学大学院生）：p. 40

10:10～10:40 自然習得者の格助詞の運用
ー談話データに見られる中間言語的特徴についてー
小田 佐智子（大阪大学大学院生）：p. 45

10:40～11:10 雑談資料から見る学習者のノダの使用と不使用
ー文脈との関わり方の観点ー
范 一楠（神戸学院大学大学院生）：p. 51

11:15～12:30 ≪ポスター発表≫（A101・A102 教室）
担当：向山 陽子（お茶の水女子大学）

(1) 日本語教師は語の難しさをどのようにカテゴリー化するか
李 在鎬（筑波大学）：p. 57

- (2) 内容理解における情報処理過程の変容
 –シャドーイング群およびリスニング群との相違–
 上原 千明（東京工学院日本語学校）：p. 59
- (3) 漢字2字熟語が漢語動名詞かどうかの判断に及ぼす語構成の影響
 –非漢字系中上級学習者対象の調査の結果から–
 桑原 陽子（福井大学）：p. 61
- (4) 作動記憶・音韻的短期記憶と第二言語習得との関連
 –モンゴル語母語話者の日本語学習を対象にして–
 向山 陽子（お茶の水女子大学）：p. 63
- (5) 英国在住日系国際児のバイリンガル育成に関する要因
 カヴァナ, バリー（東北大学）：p. 65
- (6) 形態情報の類似性が四字熟語の正誤判断に及ぼす影響（2）
 –日本語に熟達している中国語母語者と日本語母語者を対象に–
 李 岩（中央大学大学院生）・兵藤 宗吉（中央大学）：p. 67
- (7) 日本語文の具象性と呈示間隔が日本語母語話者の分散効果に及ぼす影響
 –作動記憶容量を要因とした実験的検討–
 松原 愛（広島大学）：p. 69
- (8) 上級日本語学習者の「名詞+動詞」コロケーションの使用
 –YNU 書き言葉コーパスの中国語母語話者の分析を通して–
 劉 瑞利（お茶の水女子大学大学院生）：p. 71
- (9) 韓国人上級日本語学習者における日本語漢字単語の聴覚的認知
 –韓日2言語間の形態異同性と音韻類似性を操作した実験的検討–
 柳本 大地（広島大学大学院生）：p. 73
- (10) 日本語学習者の「人々」の使用実態
 –書き言葉と話し言葉における連体修飾部の有無–
 徐 乃馨（首都大学東京大学院生）：p. 75

***** 12:30~13:30 昼休み *****

（昼休みの間も、ポスターは引き続き展示されます）

13:30～15:00 ≪基調講演≫ (A200 教室) 司会：菅谷 奈津恵 (東北大学)

CLIL 的要素を持った第二言語指導の効果

村野井 仁 (東北学院大学) : p. 77

15:00～15:05 第 27 回全国大会のお知らせ 小山 悟 (九州大学)

15:20～16:20 ≪口頭発表 3≫ (A202 教室) 司会：西川 朋美 (お茶の水女子大学)

15:20～15:50 明示的知識は暗示的知識の発達に役立つか？
ー共分散構造分析によるアプローチー

鈴木 祐一 (神奈川大学) : p. 82

15:50～16:20 中級の指導における Processing Instruction (インプット処理
指導) の効果 ータイ人学習者を中心にー

富田 郁子 (京都外国語大学大学院修了生) : p. 88

15:20～16:20 ≪口頭発表 4≫ (A205 教室) 司会：杉本 巧 (広島国際大学)

15:20～15:50 中級日本語学習者の再話課題に見られる読みの特徴と問題点

高橋 亜紀子 (宮城教育大学) : p. 94

15:50～16:20 初対面接触場面における韓国人日本語学習者の自己開示の研究
ー自己開示後の受け手を中心にー

吳 暎榮 (筑波大学大学院生) : p. 100

16:20～16:30 閉会式 (A202 教室) 司会 澤崎 宏一 (静岡県立大学)

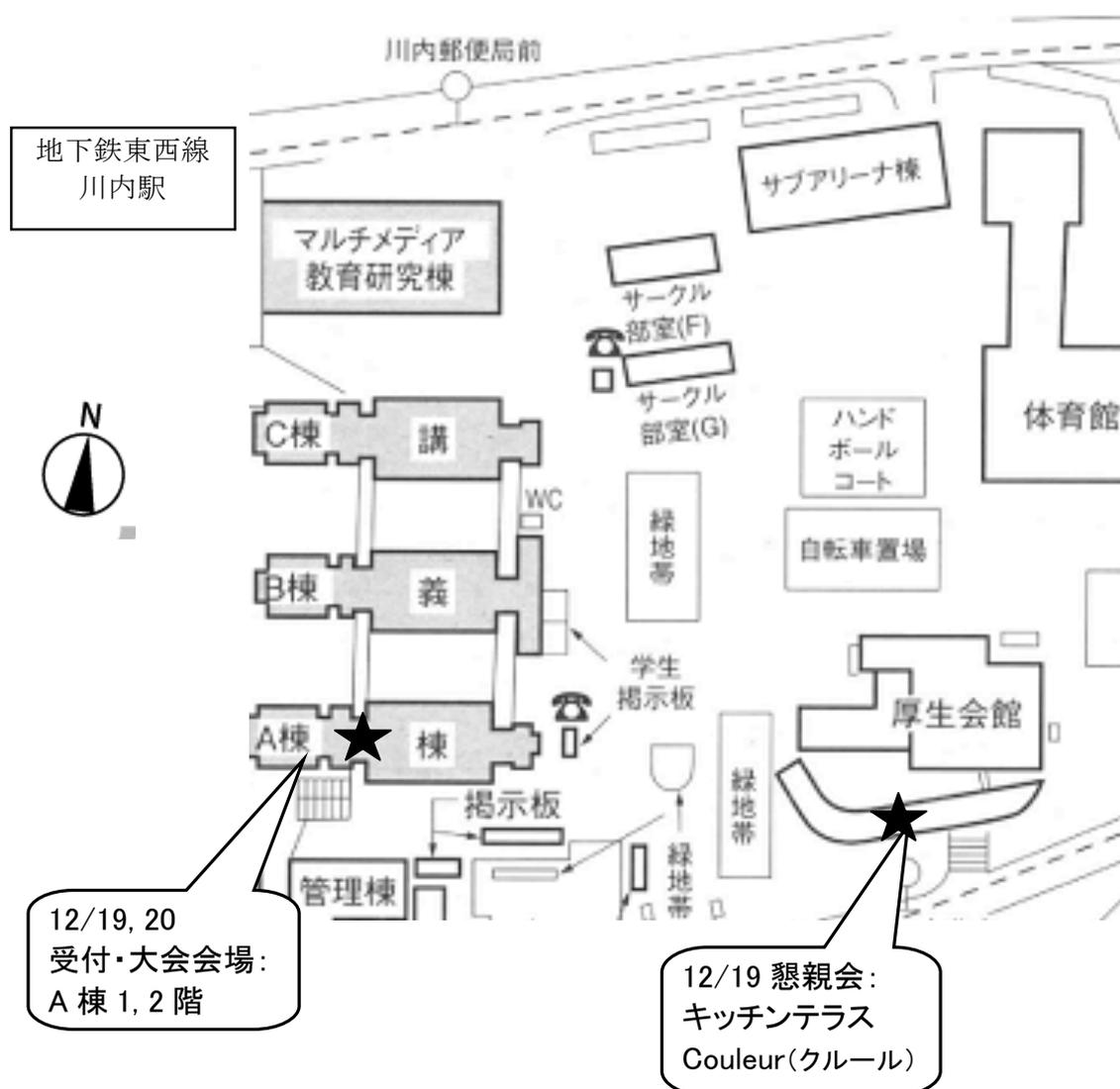
●東北大学川内北キャンパス案内・周辺地図

〒 980-8576 仙台市青葉区川内 41

《仙台市営地下鉄東西線川内駅下車すぐ（2015年12月6日開業予定）》

(1)JR 東京駅 [東北新幹線 90～120 分] ⇒JR 仙台駅 [徒歩 3 分] =
⇒地下鉄東西線仙台駅 [6 分] ⇒川内駅

(2)仙台空港駅 [仙台空港アクセス線 17～30 分] ⇒JR 仙台駅 [徒歩 3 分] =
⇒地下鉄東西線仙台駅 [6 分] ⇒川内駅



詳細は、<http://www.tohoku.ac.jp/japanese/profile/campus/01/kawauchi/>

講義棟 A 棟

